



(文責：教頭 下平 将揮)

## 学校生活アンケートの結果をお知らせします

2023年も早いもので1/12が過ぎました。3学期の登校日数は卒業証書授与式を除き、残すところ5週間、22回登校すると卒業式ということになります。季節はいよいよ春…出会いと別れの時期を迎えようとしています。ちょっとびり切ない季節と感じる人も少なくないのではないでしょうか。これまでお世話になった方々、これからお世話になる方々に、感謝やご挨拶の気持ちを込めていきましょう。

さて、昨年12月に実施した学校生活アンケート(生徒・保護者・教職員)の結果をお知らせいたします。本年度は、昨年度と比較してコロナ禍の中ではありました。可能な限りできることを工夫して行うことができるようになってきた年でありました。3年生の修学旅行は、学校、生徒の皆さん、保護者の皆様の気持ちが一体となり、7月に無事に実現できました。2年生の職場体験学習は、8月は感染警戒レベルにより延期となりましたが、10月に一日ではありましたが、学年の協力のもとで実施することができました。1年生の防災体験学習も市や大学の方々の協力を得ながら貴重な経験をすることができました。

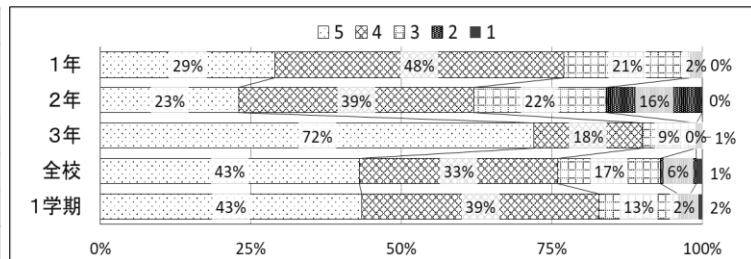
また、11月に開催しました「信濃教育会全県研究大会」では、本校を会場に参集形式で4つの教科・領域の授業公開を行うことができました。ベースとなる授業テーマは「子ども自らが、心ゆくまで探究する授業」、各都市から参加された42名の先生方の評価も大変高く、共同研究者としてご指導いただきました國學院大學教授 田村 学先生からも授業に臨む生徒の皆さんの姿から感銘を受けておられました。今後、西中お得意のICTを有効的なツールとして活用しながら、先生方も授業の本質とは何かを問い合わせ、課題に対して真摯に向き合い、学力向上、授業づくりに努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。



### I 令和4年度2学期 学校生活アンケート調査の結果

#### ① 教科の学習に意欲的に取り組んだ

①	5	4	3	2	1
1年	29%	48%	21%	2%	0%
2年	23%	39%	22%	16%	0%
3年	72%	18%	9%	0%	1%
全校	43%	33%	17%	6%	1%
1学期	43%	39%	13%	2%	2%

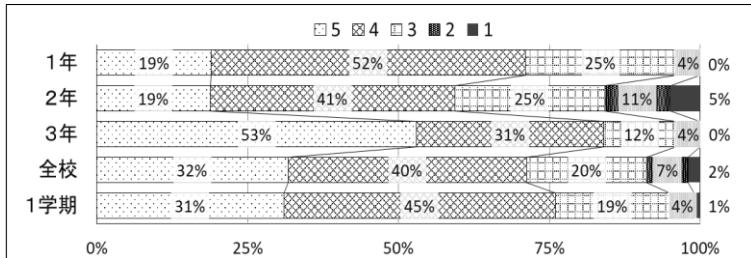


平均ポイント : 4.2 ポイント

- 評価5（大変満足）の割合が、1、2年生と比較して3年生の割合が高い。
- 肯定的な回答割合は、1年が8割近く、2年が6割、3年が9割である。
- 全体では1学期と比べ「だいたい取り組んだ」が低くなり、「どちらでもない」「あまり取り組めていない」と回答した割合が高くなっている。
- 2年生において意欲的に取り組むことに課題をもっている生徒の割合は、16%である。

#### ② 授業の内容を理解できた

①	5	4	3	2	1
1年	19%	52%	25%	4%	0%
2年	19%	41%	25%	11%	5%
3年	53%	31%	12%	4%	0%
全校	32%	40%	20%	7%	2%
1学期	31%	45%	19%	4%	1%

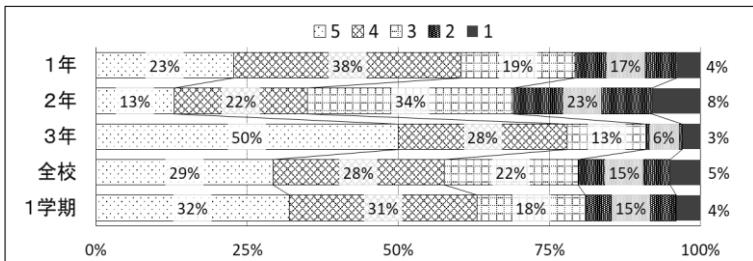


平均ポイント : 3.9 ポイント

- 全体では肯定的回答の割合が7割程度で、3年は8割を超えている。
- 2年生において学習理解に課題をもっている生徒の割合は、16%である。
- 1学期と比べ、全体的な傾向に大きな差異は認められないが、やや評価2の割合が高くなっている。

### ③ 家庭学習に意欲的に取り組んだ

①	5	4	3	2	1
1年	23%	38%	19%	17%	4%
2年	13%	22%	34%	23%	8%
3年	50%	28%	13%	6%	
全校	29%	28%	22%	15%	5%
1学期	32%	31%	18%	15%	4%

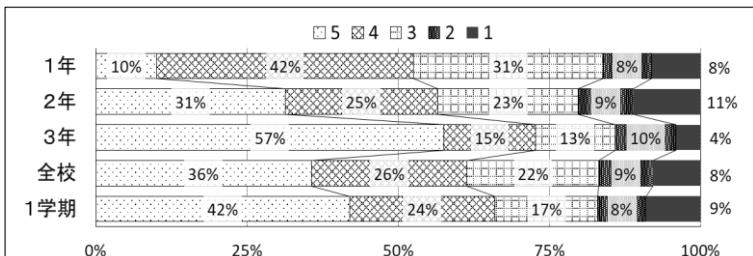


平均ポイント : 3.6 ポイント

- 全体では、肯定的な回答割合は6割近く、課題をもっている生徒の割合は2割である。
- 肯定的割合の学年別結果では、1年61%、2年35%、3年78%である。また、課題をもっている生徒の割合は、1年21%、2年31%、3年9%と、2年の割合が1/3程度である。

### ④ 学校に行くことが楽しい

①	5	4	3	2	1
1年	10%	42%	31%	8%	8%
2年	31%	25%	23%	9%	11%
3年	57%	15%	13%	10%	4%
全校	36%	26%	22%	9%	8%
1学期	42%	24%	17%	8%	9%

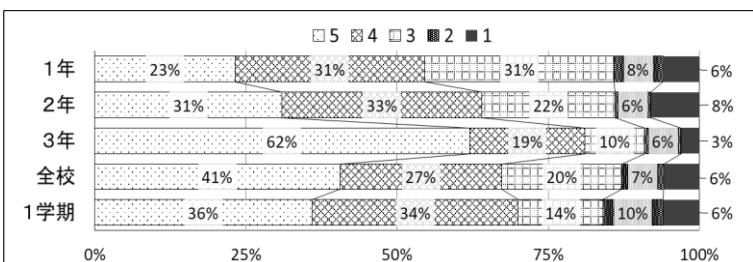


平均ポイント : 3.7 ポイント

- 全体では、肯定的な回答割合は6割であり、1学期と比べ、肯定的な割合が下がっている。
- 「楽しい」と回答した生徒の割合は、学年が上がるごとに高くなっている。
- 「あまり楽しくない」、「楽しくない」と回答した生徒の割合は、1年16%、2年20%、3年14%である。

### ⑤ 学級(クラス)は居心地がよい

①	5	4	3	2	1
1年	23%	31%	31%	8%	6%
2年	31%	33%	22%	6%	8%
3年	62%	19%	10%	6%	3%
全校	41%	27%	20%	7%	6%
1学期	36%	34%	14%	10%	6%

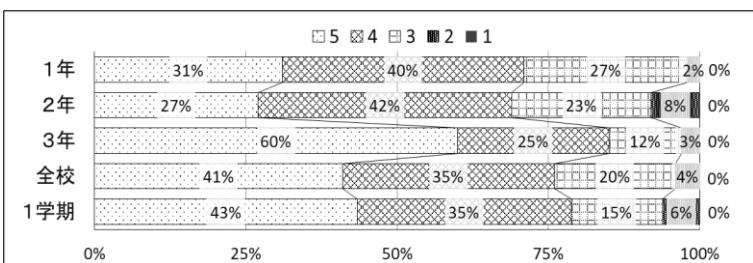


平均ポイント : 3.9 ポイント

- 全体では、肯定的な割合は7割程度で、学年が上がるごとに高くなっている。
- 「居心地があまりよくない」「よくない」と回答した生徒の割合は、1、2年は同割合で、14%である。
- 学年が上がるにつれて、「どちらでもない」の回答が、肯定的な回答に移行している。

### ⑥ きまりを守り、生活ができる

①	5	4	3	2	1
1年	31%	40%	27%	2%	0%
2年	27%	42%	23%	8%	0%
3年	60%	25%	12%	3%	0%
全校	41%	35%	20%	4%	0%
1学期	43%	35%	15%	6%	0%

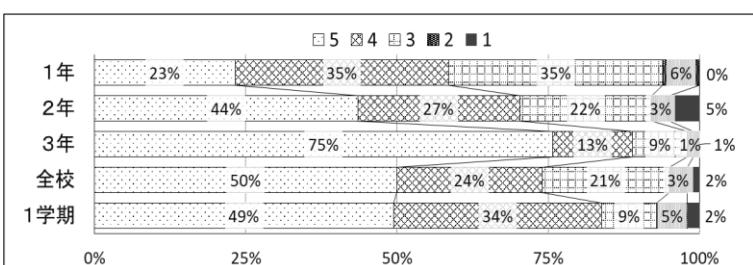


平均ポイント : 4.1 ポイント

- 全体では、肯定的な割合は7割半程度で、1、2年の割合はほぼ同程度である。
- 「あまりできていない」と回答した割合は、1年が2%、2年が8%、3年が3%である。
- 「できていない」と回答した割合はどの学年も0人であった。

### ⑦ 生徒会活動に積極的に取り組んだ

①	5	4	3	2	1
1年	23%	35%	35%	6%	0%
2年	44%	27%	22%	3%	5%
3年	75%	13%	9%	1%	1%
全校	50%	24%	21%	3%	2%
1学期	49%	34%	9%	5%	2%

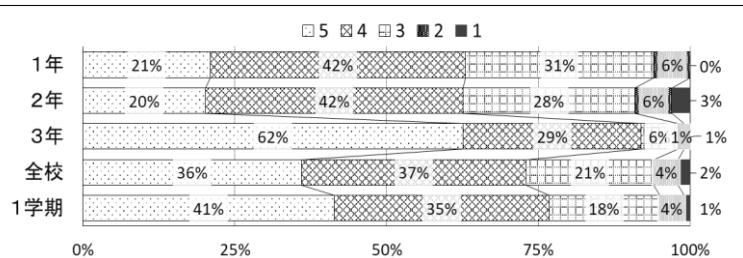


平均ポイント : 4.1 ポイント

- 全体における肯定的な割合は、7割半程度で、「あまり取り組めていない」「取り組めていない」を合わせた割合は、5%である。
- 肯定的な割合は、学年が上がるごとに高くなっている。

⑧「西中清掃」に熱心に取り組んだ

①	5	4	3	2	1
1年	21%	42%	31%	6%	0%
2年	20%	42%	28%	6%	3%
3年	62%	29%	6%	1%	1%
全校	36%	37%	21%	4%	2%
1学期	41%	35%	18%	4%	1%

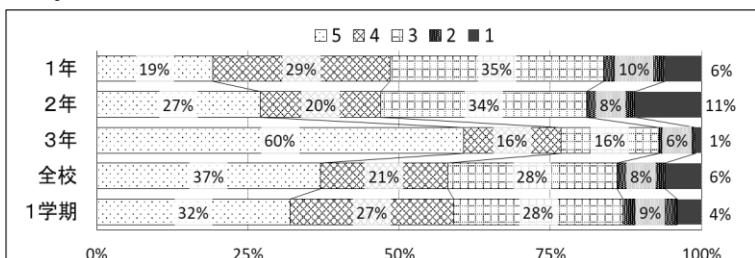


平均ポイント : 4.0 ポイ

- ・全体における肯定的な割合は、7割を超え、3年は9割を超えていている。
- ・1、2年では「だいたい取り組んだ」と回答した生徒の割合が、階層の中でもっとも高い。
- ・1学期と比べ、肯定的割合がやや減少している。

⑨ 将来の夢や目標に向かって努力している

①	5	4	3	2	1
1年	19%	29%	35%	10%	6%
2年	27%	20%	34%	8%	11%
3年	60%	16%	16%	6%	1%
全校	37%	21%	28%	8%	6%
1学期	32%	27%	28%	9%	4%

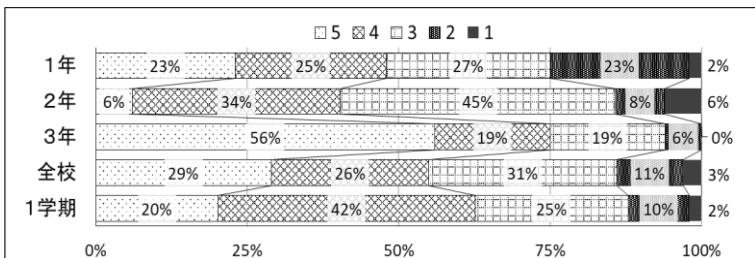


平均ポイント : 3.8 ポイ

- ・全体における肯定的な割合は、6割を満たしていない。また、2年では5割を切っている。
- ・1学期を比べ「努力している」と回答した割合が伸びており、これは3年の数値に影響されている。
- ・「将来の夢や目標に向かってあまり努力していない」「努力していない」と回答した生徒の割合は、1年 16%、2年 19%、3年 7%である。

⑩ 体験学習で学んだことが、日々の生活に生かされている

①	5	4	3	2	1
1年	23%	25%	27%	23%	2%
2年	6%	34%	45%	8%	6%
3年	56%	19%	19%	6%	0%
全校	29%	26%	31%	11%	3%
1学期	20%	42%	25%	10%	2%

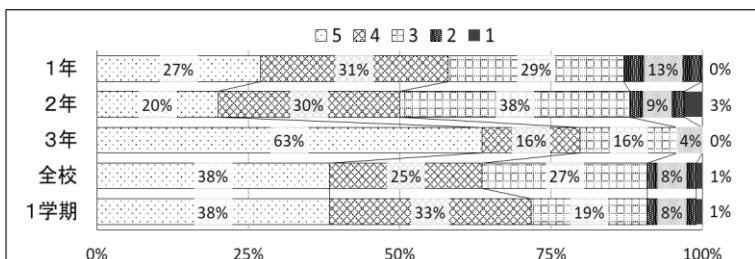


平均ポイント : 3.6 ポイ

- ・学年別肯定的な割合でみると、1年 48%、2年 40%、3年 75%で、コロナ禍により体験学習の活動に制限があったことが影響を受けていると考えられ、特に2年は、職場体験学習の活動日数が3日から1日に減少したことにも数値に表れている（考察含む）。

⑪ あいさつや正しい言葉遣いに心がけている

①	5	4	3	2	1
1年	27%	31%	29%	13%	0%
2年	20%	30%	38%	9%	3%
3年	63%	16%	16%	4%	0%
全校	38%	25%	27%	8%	1%
1学期	38%	33%	19%	8%	1%

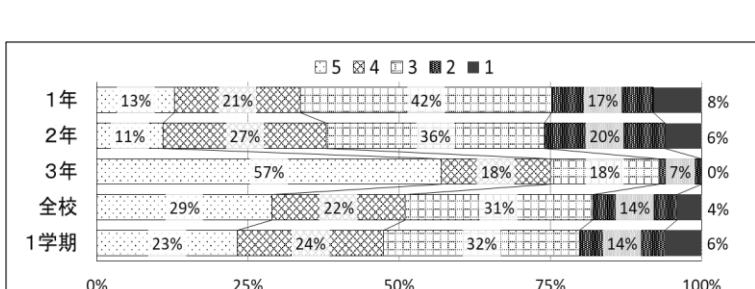


平均ポイント : 3.9 ポイ

- ・全体的な肯定的な回答では、6割弱程度。「あまり心がけていない」「心がけていない」と回答した割合は、1割程度で、1、2年共に同程度である。
- ・1年～2年の状況から「どちらでもない」の回答が10%程度高くなっている。

⑫ 地域の一員である自覚と行事やボランティア活動に参加を心がけている

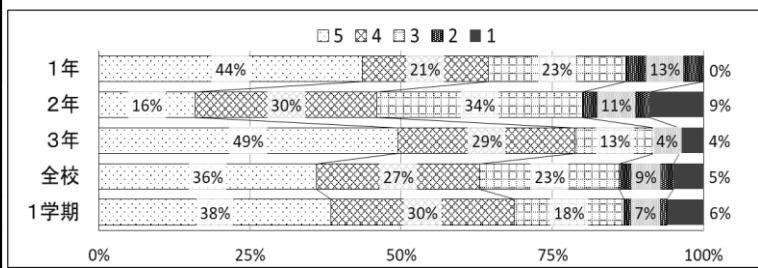
①	5	4	3	2	1
1年	13%	21%	42%	17%	8%
2年	11%	27%	36%	20%	6%
3年	57%	18%	18%	7%	0%
全校	29%	22%	31%	14%	4%
1学期	23%	24%	32%	14%	6%



平均ポイント : 3.6 ポイ

- ・3年の肯定的な回答の割合が極めて高く75%であるのに対し、1年は34%、2年は38%である。
- ・参加に消極的な生徒の割合は、3年が7%に対して、1、2年共に学年全体の1/4程度である。

⑬ ネットルールやゲーム・スマホの使い過ぎに気を付け、家族との約束を守っている					
①	5	4	3	2	1
1年	44%	21%	23%	13%	0%
2年	16%	30%	34%	11%	9%
3年	49%	29%	13%	4%	4%
全校	36%	27%	23%	9%	5%
1学期	38%	30%	18%	7%	6%



平均ポイント：3.8 ポイ

- 1年の肯定的な回答が65%、2年が46%、3年が78%である。
- 「守っていない」と回答した割合は1年0%、2年9%、3年4%である。

## II 令和4年度学校自己評価 保護者評価 平均値(2学期実施) 回収率60%

重点項目	評価の観点	令和3年度	令和4年度
児童の発達・向上	お子さんは、教科の学習に意欲的に取り組んでいると思われる。	3.4	3.5
	お子さんは、授業の内容を理解できていると思われる。	3.2	3.5
	お子さんは、家庭学習に意欲的に取り組んでいると思われる。	3.0	3.2
集団づくり	お子さんは、学校に行くことが楽しいと思われる。	4.1	3.9
	お子さんは、学級は居心地がよいと思われる。	3.9	3.8
	お子さんは、きまりを守り、生活ができていると思われる。	4.0	3.9
誇りをもつ	お子さんは、生徒会活動に積極的に取り組んでいると思われる。	3.8	3.9
	お子さんは、将来への夢や目標に向かって、努力していると思われる。	3.3	3.5
	お子さんは、体験学習で学んだことを日々の生活にいかしていると思われる。	3.2	3.4
新規性(R3.5)	お子さんは、あいさつや正しい言葉遣いに心がけていると思われる。	3.6	3.5
	お子さんは、地域の一員であることを自覚し、地域の行事やボランティア活動に参加することを心がけていると思われる。	3.1	3.0
	お子さんは、ネットのルールやゲーム・スマホの使い過ぎに気を付け、家族との約束を守っていると思われる。	3.0	3.1

## III 令和4年度学校自己評価 職員自己評価 平均値(前年度との比較)

	1	2	3	4	5	R4換算	R3年度
①生徒は教科学習に意欲的に取り組んでいる。	0%	5%	32%	64%	0%	3.6	3.4
②生徒は授業の内容を理解できている。	0%	5%	55%	41%	0%	3.4	3.1
③生徒は、家庭学習に意欲的に取り組んでいる。	14%	9%	59%	18%	0%	2.8	2.5
④生徒は、学校に来ることが楽しいと感じている。	0%	0%	14%	68%	18%	4.0	4.0
⑤生徒は、学級の居心地がよいと感じている。	0%	0%	14%	86%	0%	3.9	3.8
⑥生徒は、きまりを守り、生活ができている。	9%	5%	41%	41%	5%	3.3	3.4
⑦生徒は、生徒会活動に積極的に取り組んでいる。	0%	14%	18%	45%	23%	3.8	3.8
⑧生徒は、「西中清掃」に熱心に取り組んでいる。	5%	9%	45%	36%	5%	3.3	3.5
⑨生徒は、将来への夢や目標に向かって、努力している。	0%	14%	50%	27%	9%	3.3	3.0
⑩生徒は、体験学習で学んだことを日々の生活に生かしている。	0%	9%	45%	36%	9%	3.5	3.6
⑪授業のUD化を進め、ねらいと見どけのあるわかりやすい授業を目指している。	0%	0%	18%	55%	27%	4.1	4.2
⑫「ICT機器活用」もしながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を進めている。	0%	5%	32%	41%	23%	3.8	4.1
⑬家庭学習の充実のために、家庭で行う課題を授業とリンクさせている。	0%	5%	59%	36%	0%	3.3	3.5
⑭挨拶や正しい言葉遣いを実践し、機会をとらえて生徒に指導している。	0%	0%	18%	59%	23%	4.0	4.0
⑮ネットモラル教育や人権教育を実践し、安心安全で居心地のよい学校づくりに努めている。	0%	0%	27%	41%	32%	4.0	4.2
⑯総合的な学習の時間を中心としたキャリア教育を計画的に進め生徒の自己有用感を育てている。	0%	0%	23%	59%	18%	4.0	4.1
⑰生徒会活動(SDGs)や地域と関わる活動を進め、地域を愛し地域を考える生徒を育てている。	0%	9%	18%	45%	27%	3.9	4.4

## 【保護者の皆さん】

アンケートへの回答ありがとうございました。本年度は、学力の定着・向上に関わる三つの項目すべてが、昨年度を上回りました。これは、学力向上及び授業改善の方向性が授業を通して具体的に表れてきたことによる評価であると受け止めております。冒頭にも述べましたが、本年度は11月に信濃教育会全県研究大会が行われたことに加え、9月に数学科において教育課程研究協議会を行い、職員が一丸になり授業研究を推進してきました。さらに、本年度は、各教科・領域等における県教育委員会指導主事訪問の機会を昨年度の年3回から年14回と増やし、日頃の授業における教師のスキルアップや授業改善の方向を指導主事と共に本校職員が練り上げてきたことも結果につながっていると期待しております。

しかし、家庭学習について依然として課題があることも確かです。教職員の調査からも③「生徒は、家庭学習に意欲駆に取り組んでいる」「⑬家庭学習の充実のために、家庭で行う課題を授業とリンクさせている」が伸び悩んでいる状況です。今後、各教科・領域等における年間指導計画を加味しながら、授業と家庭学習との連結を図るとともに、授業設計そのものを見返し、

「令和の日本型学校教育」の指針にそって、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向けてさらに研究を進めていきたいと考えています。

地域連携では、コロナ禍において、地域の一員であることを自覚し、地域の行事やボランティア活動への積極的な参加は難しい面もありましたが、afterコロナにおいて改めて力を入れていく必要があると感じております。

インターネットやゲーム・スマートフォン等の使い方及び家族との約束について、自分で判断できる約束、見通しがもてる約束を意識しながら、ネットリテラシー即ち、「インターネットを適切に使いこなす能力」の向上に家庭と連携して進めてまいります。



<具体的な場面や課題例>  
漢字練習 / 音読練習 / 計算練習 / 文法の定着 / 実験(実測)結果や製作(制作)のまとめ / 教科書のQRコードを使うことで英語に触られる活動など

まとめや確認、練習問題等に充てる時間を家庭学習で行い、次時の授業で、解答の確認や分からないことを解決し、次の課題へ移るような授業展開



<具体的な場面や課題例>  
・読書に觸れる単元で、授業で見通しをもち、家庭学習で説いて感想等を記入し作成したものをもとに授業で共有し、修正や再構成をしたものを教室内に展示する。  
・鑑賞では、家庭学習で作家について調べ、授業で作品を見たり聴いたりして、表現されたものや表現のしかたなどを意味付けて、家庭学習レポートにまとめ、その後の授業で発表し合う。  
・資料を活用する場面で、目的に応じてデータ(資料)を家庭学習で収集し、授業で共有及び新たな知識や見方を得て、家庭学習で再びデータを分析、表現し直して考察し、レポートとしてまとめたものを授業で発表し合う。

単元を貫く「問い合わせ」や課題に対して、家庭学習(個人追究: 調べる・分析する・考察する等) → 授業(共同追究)で共有し、新たな知識や見方の獲得 → 家庭学習(個人追究)…をくり返しながら、問い合わせ段階的に深まりつつ、課題が解決していくような授業展開

### 【例】授業と家庭学習をリンクした連続的な学びのイメージ

※2学期学校生活アンケート（保護者コメントより）は、2月10日（金）配布資料のとおりです。

## 学校生活アンケートへの回答（御礼）

学校生活アンケートへのご回答を有り難うございました。また、学校運営に対するご理解とご協力に際してまして、心より感謝申し上げます。

自己評価では、自分のことを甘く見るか厳しく見るかの尺度がそれぞれ異なります。また、他者評価でも、相手に対して好意的か批判的か、あるいは期待値などによっても評価の尺度は異なってきます。このそれぞれ異なる個の評価が集まり、集団になったものを平均値として、学校に対する評価が示されました。

生徒のアンケート結果では、すべての項目で平均が 3.6 ポイント以上あり、全体とすれば本年度も概ね肯定的な結果であったと捉えています。特に、「教科の学習に意欲的に取り組んだ」、「決まりを守り生活ができている」、「生徒会活動に積極的に取り組んだ」、「西中清掃に熱心に取り組んだ」の項目が平均 4 ポイント以上であり、日常の中学校生活をまじめに過ごしているという様子が伺われます。

保護者様のアンケート結果では、回収率が 60% とやや低かったものの、平均 3.5 ポイント以上の項目が 8 つ、未満の項目が 4 つという結果で、こちらも概ね良好の評価をいただいたと思います。特に、重点項目枠の「学力の定着・向上」と「誇りを持つ」では、前年を上回る評価がありました。

職員の自己評価では、「家庭学習の充実」に代表されるように、生徒に期待を込めた評価が幾つもありますが、概ねグランドデザインを意識した取組ができたものと捉えています。職員も襟を正して学校運営に当たりたいと存じます。

自由記述欄では、生徒から問題提起のコメントが延べ 6 件、保護者様からは肯定的なものや感謝・応援、批判的なものや問題提起、自身の悩みや要望・提案等のコメントが延べ 57 件寄せられました。

これらのコメントについては、職員会議で共通理解を図ったり、個別対応をしたりしました。また、学校運営協議会の皆様にもこの冊子を配付し、飯田市教育委員会にも提出しながら、学校運営に対する客観的評価と指導助言をいただきます。

ご意見いただいた課題等に対しては、学校運営がさらによりよくなるための叱咤激励と受け止め、伸び代にしたいと考えます。また、100%お応えすることはできかねますが、具体的な改善や着地点を見つけるなど鋭意努力をしてまいります。

西中生徒会では、選ばれた役員がしっかりとリーダーシップを発揮し、会員がしっかりとサポートしていますし、制限ある中での創意工夫や柔軟な対応のおかげで、全体としての校内生活は安定していると思います。生徒たちは着実に成長しています。

しかし、個別では、様々な悩みや困難に直面しています。そこで、苦しかったり困ったりするときは、相談し吐き出すことで、悩みをためないこと。そして、このような場面に遭遇したときの対処法や切り抜け方を見つけ、失敗はチャレンジした証とし、これから的人生の糧にして乗り越えていけるよう助言しているところです。

生徒も職員も成長過程の最中にいますので、今後もご理解いただき、ご支援くださるよう宜しくお願ひ申し上げます。

校長 宮下寿男